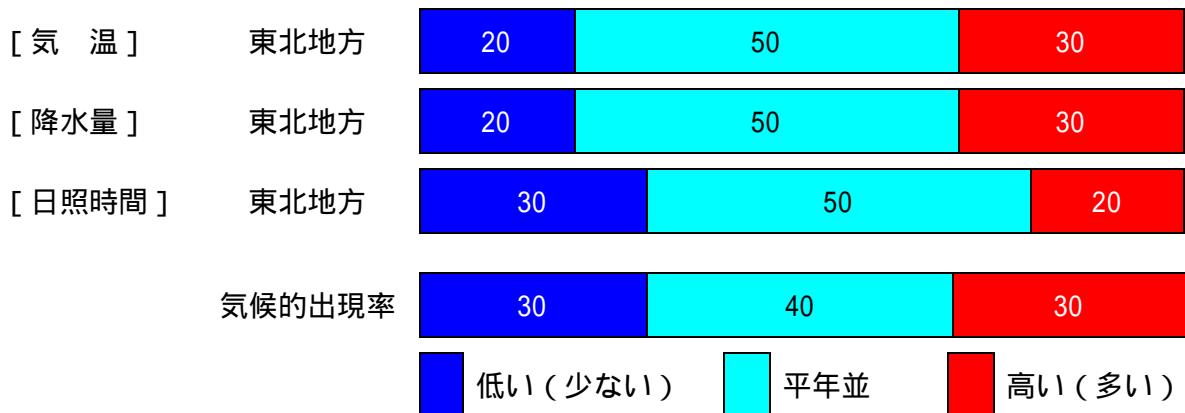


東北地方 1か月予報の解説（予報期間：5月29日～6月28日）

平成11年5月28日 仙台管区気象台

1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）



[気温]: 東北地方は「平年並」の可能性が大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は、「高い」で30%です。「低い」確率は20%と小さい。

[降水量]: 東北地方は「平年並」の可能性が大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は「多い」で30%です。「少ない」確率は20%と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は、「少ない」で30%です。「多い」確率は20%と小さい。

2. 予想される天候の特徴（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう1か月

前線や低気圧の影響を受け、平年同様、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は「平年並」でしょう。

各予報期間の天候の特徴

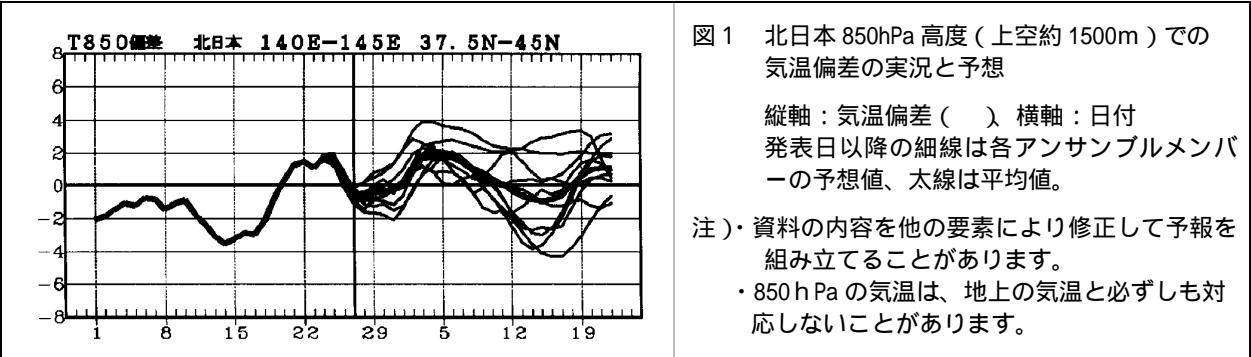
1週目……… 気圧の谷が短い周期で通りますが、天気のくずれは小さく、曇りまたは晴(5月29日～6月4日) れの日が多いでしょう。平均気温は平年並の見込みです。
(詳細は週間天気予報を参照)

2週目……… 前線や低気圧の影響で、平年同様曇りや雨の日が多いでしょう。
(6月5日～6月11日) 平均気温は平年並の見込みです。

3～4週目……… 前線や低気圧の影響で、平年同様曇りや雨の日が多いでしょう。
(6月12日～6月25日) 平均気温は平年並の見込みです。

3 . 850hPa の気温偏差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温は、アンサンブルメンバーの平均でみると、1週目後半から2週目前半にかけて高く、2週目後半以降はいったん平年並程度まで下がるが、4週目には再び昇温傾向を示す。ただし、2週目以降アンサンブルメンバーのバラツキは大きく、信頼度は小さい。



注：1か月予報では、よく似た初期値から出発した10個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4 . 最近1週間（5月21日～5月27日）の天候の経過

この期間、天気は周期的に変化した。21日、24日～25日にかけては低気圧や前線の影響で東北地方全般に曇りや雨で、21日には雷雨のところもあった。その他の日は、移動性高気圧に覆われて晴れた。

気温は平年より高く、降水量は平年より多かった。日照時間はほぼ平年並だった。

表1 最近1週間の 平均気温、降水量、
および日照時間の平年差（比）
(地域平均値、アメダスによる速報値)

	気温偏差（ ）	降水量（%）	日照時間（%）
東北全域	+2.0	210	108
東北日本海側	+1.6	154	101
東北太平洋側	+2.3	248	112

5 . その他

オホーツク高気圧指数はバラツキが大きいが、時期は異なるものの後半高まるメンバーが多い。

